

こうふ広域119

甲府地区広域消防50周年を迎え、そして・・・

全力投入!

もくじ

PICK UP

『ライブ映像119』運用中..... 1

救急電話相談窓口「#7119」始まりました!..... 2

女性職員採用、経験者採用..... 3

住宅用火災警報器の設置について..... 4

日常生活に潜む火災危険..... 5

私たちの市・町の火災と救急統計..... 6

各種活動の紹介..... 7

『ライブ映像119』運用中!

『ライブ映像119』とは、通報者が撮影した映像を指令センターに送信する119番通報の新しいシステムです。言葉では説明が難しい災害現場の状況を明確に伝えることができるため、迅速な災害対応に繋がり、また、応急手当が必要な急病人やけが人に対して、より効果的な指導を行えるようになり通報者の安心にもつながります。

※なお、この通報には、通報者に動画通信によるパケット通信料が発生します。

通報イメージ



よくあるご質問

Q 通報者側の通信料金はいくらぐらいかかりますか?

A 1分あたり3MB～12MB程度のパケット通信が発生し、ご利用の電話契約プランによる通信料がご負担となりますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

Q 事前登録は必要ですか?

A 事前の登録は必要ありません。SMSでURLが届きますので、あとは指示通りに操作していただければつながります。

Q 映像はスマートフォンに保存されますか?

A 映像は保存されません。

Q 119番通報した場合に必ずライブ映像119を行うのですか?

A 必ず行うものではなく、通信指令員が必要と判断した場合にライブ映像119の依頼を行います。ライブ映像119実施中に危険と判断した場合は速やかに中断します。

Q 周囲の人に撮影行為を誤解されませんか?

A 通報画面に「ライブ映像119」と表示されており、状況を説明していただくか、場合によっては、通信指令員から周囲の方々に説明をさせていただきます。

Q ライブ映像119が終わった後に、再度通報できますか?

A 通報終了後、同じURLから再度通報することはできません。

※その他ご不明な点は、甲府地区消防本部指令課にお問い合わせ下さい。

『ライブ映像119』にご協力をお願いします!

お問合せ先 ▶▶ 甲府地区消防本部 指令課 TEL:055-222-1190 FAX:055-235-2119

救急電話相談窓口「#7119」が始まりました!

急な病気やけがで迷った時はココに相談!

山梨県では、救急車を呼ぶべきか迷った場合の救急電話相談窓口が、令和5年10月2日18時から始まりました。

窓口の名称は、「救急安心センターやまなし」専用ダイヤル「#7119」です。医師や看護師らが容体などを聞き取り、救急要請の必要性を判断します。

救急要請が必要な場合は119番通報するよう案内し、不要なら応急処置の方法や診療科目などを紹介します。

24時間365日体制で、けがや病状の相談に応じます。

県内のどこからでも、電話はつながります。

救えるはずの命を救うために救急車の適正な利用が必要です。

当本部における令和4年中の救急出場件数は16,596件(昨年比+1,886件12.8%増)、搬送人員は15,511人(昨年比+1,652人11.9%増)でした。

この件数を1日平均にすると、45.5件出場し、42.5人を搬送しています。これは約32分に1回の割合で救急隊が出動したこととなり、搬送人員を管内人口の割合で見ると、約19人に1人が救急搬送されたこととなります。

近年、救急車の出動件数・搬送人員数とともに増えており、救急隊の現場到着時間は延伸しています。

救急車を本当に必要とする人のために、皆様のご理解とご協力をお願いします。



2023年(令和5年)10月2日(月)から始まりました

救急電話相談窓口

#7119

救急安心センターやまなし
24時間
365日

IP電話・ダイヤル回線の場合は **055-223-1418**

緊急・重症の時は迷わずすぐに **119** 番

休日や夜間に診療できる医療機関をお探しの場合は、以下にご相談ください

山梨県救急医療情報センター 甲府市・甲斐市(旧竜王町、旧敷島町の区域)、中央市及び昭和町を併く全地域	055-224-4199	峡北消防本部	0551-22-8181
甲府市医師会救急医療センター 甲府市、甲斐市(旧竜王町、旧敷島町の区域)、中央市及び昭和町	055-226-3399	笛吹市消防本部	055-261-0119
山梨県東部消防指令センター (都留市消防本部・大月市消防本部・上野原市消防本部)	0554-45-0119	峡南消防本部	055-272-1919
富士五湖消防本部	0555-23-4444	東山梨消防本部	0553-32-0119
		南アルプス市消防本部	055-283-1999

お問い合わせ先 山梨県防災局 消防保安課 055-223-1430

応急手当の知識と技術を身につけておきましょう (ガイドライン2020対応)

管内(甲府市、※甲斐市、中央市、昭和町)の事業所、各種団体、並びに在住、勤務又は就学している方を対象にした、心肺蘇生法やAEDの使用法などを習得する救命講習を開催しています。講習の開催にあたり、新型コロナウイルス感染防止対策として、受講者・eラーニングの受講・実施会場の環境等の制限を設けた中での開催となります。

講習種別

- 基礎救命講習
- 普通救命講習(eラーニング方式)
- 上級救命講習(感染症拡大防止のため、開催予定なし)

大切な人や家族の命を守るため、
救命講習を受講しましょう。

※甲斐市にあつては、旧竜王町及び旧敷島町に限ります。
旧双葉町は峡北消防本部となります。

お問い合わせ・詳細は、電話又は消防本部ホームページにてご確認ください。
055-222-1193(直通:消防救急指導員・普及員室) 055-222-1192(救急救助課)

咲き誇れ！ この街で 輝け！ 消防女子！

消防という男性の職場というイメージが強いと思いますが、消防の現場では女性が活躍することで、子どもや高齢者、災害時の要支援者など、様々な場面で住民への対応力が向上し『より優しく親切丁寧な消防』として、住民に安心感を与えられることから、これまで以上に女性消防士の重要性は高まっています。

現在、甲府地区消防本部では、警防業務、救急業務、予防業務など様々な場面で、12名の女性消防職員が活躍しています。

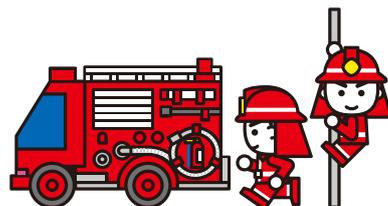


消防吏員《経験者》採用試験案内<通年募集>

甲府地区消防本部では消防吏員として経験のある職員を募集しています。あなたが一度、消防で得た知識、技術、経験を活かし、圏域住民の安全・安心のために私たちと共に働いてみませんか。詳しくは甲府地区消防本部HPの職員募集案内をご覧ください。 ※11月1日現在、4名の消防吏員経験者が採用されています。

求める人材・人物像

- 高い使命感と倫理観を持ち、圏域住民のために尽力できる人
- 心優しく思いやりがあり、チームワークを大切にする人
- 広い視野に立ち、常に冷静な判断力と行動力を備えた人

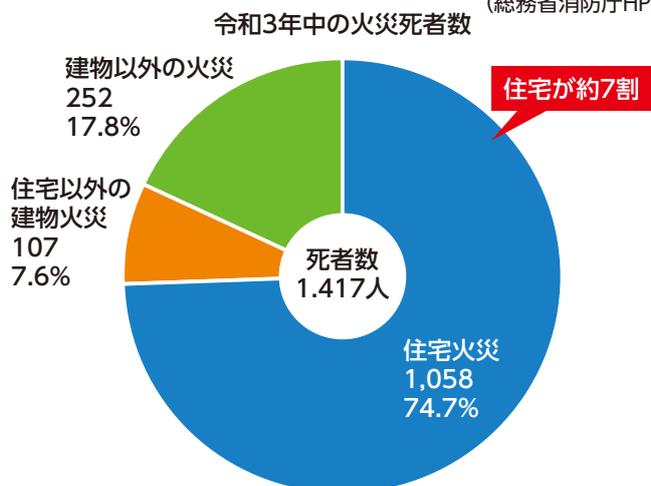
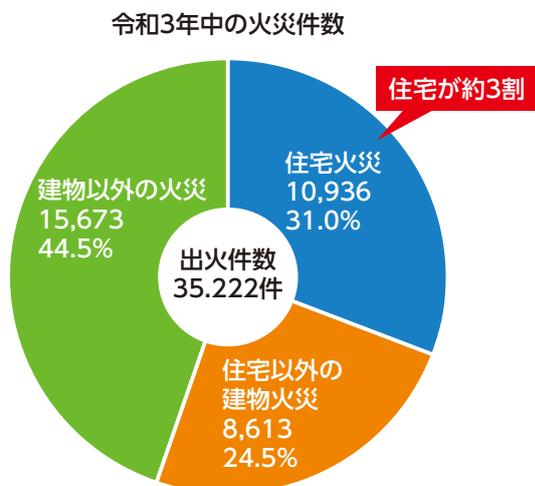


住宅用火災警報器は全ての住宅に設置が義務です!!

火災死者の約7割は住宅で発生!

令和3年中の住宅火災の件数は総出火件数の約3割ですが、死者数は総死者数の約7割を占めています。

(総務省消防庁HPから)



※放火を含むすべての火災

※放火自殺者等を含むすべての死者

甲府地区消防本部管内の設置率は79.8%(令和5年6月現在)

事前に住宅用火災警報器を準備していただければ職員が取付支援に伺います。

お申込みは、下のお問合せ先の消防署に直接お越しいただくか、電話でお申込み下さい。

住宅用火災警報器の点検・交換

●点検は定期的に

本体のボタンを押すか、付属の紐を引きます。
正常な場合、正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。
少なくとも年に2回は点検しましょう。
(春・秋の火災予防運動の時期に実施することを推奨)

反応しない場合は、すぐに**交換**しましょう!

●交換の目安は10年

設置から10年以上の場合も**交換**しましょう!

設置年数は、設置の時に記入した設置年月や交換期限で確認できます。
記載がない場合は、製造年でおおよその時期がわかります。



新しく交換する際は、生活に適した機器を!

火災などの危険に対して、より安心できるさまざまな機能を兼ね備えた機器の設置を検討しましょう。

お問合せ先

◎消防本部予防課

Tel.055-222-1291

◎南消防署

Tel.055-233-1499

◎中央消防署

Tel.055-254-9119

◎西消防署

Tel.055-276-3825

『火災になった時に命を守るために』・『お家で火を出さないために』(リーフレット)

これからの季節は、空気が乾燥し火気を使用する機会が増えて火災が発生しやすくなります。
住宅から火を出さないため、また、万一火災を起こしてしまった時に命や財産を守るため、防火対策を推進してください!



火災予防に関する情報(ホームページ)

上記以外にも、火災予防に関する情報が甲府地区消防本部のホームページに掲載されていますので、参考にしてください。



日常生活に潜む火災危険

〔着衣着火・ガストーチバーナー〕

着衣着火

着衣着火は、「調理中にこんろの火が袖口に燃え移る」「仏壇のろうそく等の火が身につけている衣服に燃え移る」などの火災をいいます。

簡単なミスが大きな被害につながる場合がありますので、日常生活の中で気を付けて着衣着火を防ぎましょう。

着衣着火を防ぐポイント



◎燃えやすいものを火気から遠ざける

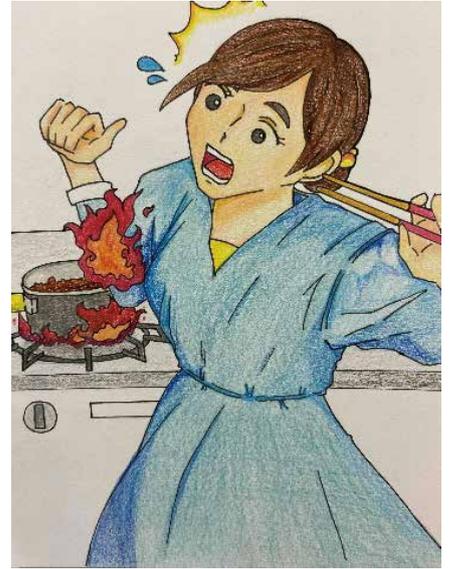
台所で火気を取り扱う際は、衣服への着火に注意し、燃えやすいトレーやキッチンペーパーなどを火気から遠ざけることが大切です。

◎燃えやすい素材の注意

燃えやすい素材の衣服(ポリエステル、ナイロンなど)は着火した際に急速に燃え広がりますので、防災物品ラベルの付いたエプロンなどを使用しましょう。

◎緊急時の対応を知る

もしも、着衣に着火した場合には、脱ぐ・叩く・水をかけるなどをして早期に119番通報を行いましょう。



管内にお住いの丸山阿柚さん作

ガストーチバーナー

ガストーチバーナーは、キャンプの時など愛用されている方も多いと思います。

そんな便利な道具も使用方法を誤ったり、製品の劣化等によって火災等の重大な事故に繋がった事例が全国的に増加傾向にあります。

実際に、当本部管内でも発生しておりますので、事故を防ぐポイントをお伝えいたします。

事故を防ぐポイント



◎事故を防ぐポイント取扱説明書をよく読む

メーカーによって、点火や消火等の使用方法が異なるため、取扱説明書をよく読み誤った使い方はしないようにしましょう。また、海外輸入品の中には日本語表記がないものもあるので注意しましょう。

◎使用前及び使用後の点検

- ▶内部のゴムが劣化等によりガス漏れが起きるため、切れやひび割れがないかを確認しましょう。
- ▶ガスボンベとの接続がしっかりとされ、「緩み」や「がたつき」がないかを確認しましょう。
- ▶使用後は、完全に消火できているかを確認しましょう。

◎廉価品に注意する

廉価品の中には、製造責任を持つ社名や連絡先が明記されておらず、事故が起きた際の連絡や調査が困難なものもあります。また、粗雑な作りのものもありますので注意しましょう。



私たちの市・町の火災と救急統計

火災件数

令和5年上半期の火災件数は60件で、昨年同期と比べ14件の増加となっています。火災による死者の数は2人で昨年同期と比べ1人の減少となっています。

出火原因は、たばこが9件と最も多く、次に放火(疑い含む)、配線器具が上位を占めています。

過去の統計から見ても、たばこと放火(疑い含む)が原因となる火災は、常に上位に入っています。たばこについては、多くが投げ捨てによるものですので、たばこの投げ捨ては絶対にやめましょう。また灰皿には水を入れ確実に消したことを確認するようにしてください。放火については、放火されやすい環境を作らないために家の周りは整理整頓し、燃えやすいものは置かないようにしましょう。

最近では、配線器具からの出火が増加傾向でありますので、「タコ足配線をしない。」「プラグは定期的に掃除をする。」などの身近でできることをしていただきたいと思えます。また、使用中に異常を感じましたら速やかに使用を停止し、メーカー等に問い合わせをお願いします。

救急件数

令和5年上半期の救急出動件数は8,114件で、1日平均約45件出動しています。事故種別ごとに見ると、急病が5,475件と最も多く、次に一般負傷が1,184件、交通事故が567件となっています。急病の中には成人の突然死も含まれ、その主な原因は、急性心筋梗塞や脳卒中です。

急性心筋梗塞では「胸の真ん中に突然生じる痛み・締め付けられるような重苦しさ・圧迫感」などの症状があり、脳卒中では「体の片方に力が入らない・しびれる」「うまくしゃべれない」などの症状があります。その初期症状に少しでも早く気づいて119番通報し病院で治療を始めることが重要です。

また、心臓や呼吸が停止するような場合には、すぐにAEDや心肺蘇生法などの応急手当を実施することで、大切な命が助かる可能性が高くなります。

火災原因の比較

区分	令和5年上半期	令和4年上半期
たばこ	9件	6件
放火(疑い含む)	6件	5件
配線器具	6件	3件
火入れ	4件	4件
たき火	3件	4件
ストーブ	3件	3件
こんろ	2件	4件
不明・その他(調査中を含む)	27件	17件
合計	60件	46件

令和5年上半期(1月~6月)

火災件数 60件

救急件数 8,114件

※中央道10件・管外5件を含む。

甲府市

火災件数 36件
 焼損面積 1,077㎡
 損害額 55,387千円
 救急件数 5,595件

甲斐市

(旧双葉町を除く)

火災件数 8件
 焼損面積 90㎡
 損害額 3,544千円
 救急件数 1,305件

中央市

火災件数 12件
 焼損面積 1㎡
 損害額 494千円
 救急件数 653件

昭和町

火災件数 4件
 焼損面積 0㎡
 損害額 35千円
 救急件数 546件

火災件数等の比較

区分	令和5年上半期	令和4年上半期
火災件数	60件	46件
建物火災	38件	23件
損害額	59,460千円	71,736千円
焼損床面積	1,070㎡	720㎡
焼損表面積	98㎡	106㎡
死者	2人	3人
負傷者	13人	4人

救急件数等の比較

区分	令和5年上半期	令和4年上半期
救急出動件数	8,114件	7,760件
搬送人員	7,571件	7,213件

各種活動の紹介

消防音楽隊演奏



令和5年6月11日、甲府地区消防音楽隊が甲府駅開業120周年記念イベントで、JR東日本甲府エリア職員と山梨県警察音楽隊との合同演奏を実施しました。当日はあいにくの天気でしたが全5曲を演奏し、多くの方々に鑑賞していただきました。今後もイベント等を通じて住民の防火意識高揚を図るため広報活動に努めていきます!

第50回山梨県消防救助技術記念大会



令和5年6月13日、山梨県消防学校において開催され、日々の訓練で鍛えた救助技術の成果を発揮しました。4大会ぶりの通常開催となる今大会は50回目の記念大会で、甲府地区消防本部では「ロープブリッジ救出」、「障害突破」の2種目が令和5年7月27日に栃木県で開催された「第51回消防救助技術関東地区指導会」に出場しました。

職場体験



管内の中学生が夏休みを利用して職場体験に来ました。将来、消防士になりたいという夢を持っており、職員も勇気づけられるとともに、消火訓練や心肺蘇生法を体験している中学生のキラキラと輝く瞳がとても印象的でした。各消防署では職場体験を受け付けていますので、ぜひご応募ください。

第49回甲府地区支部消防団員総合訓練大会



甲府地区を構成する、甲府市・甲斐市・中央市・昭和町の合計2,000余名の消防団員の中から選出された総勢176名の団員が訓練礼式・ポンプ車操法・小型ポンプ操法の3つの訓練を行い、各市町長・団長をはじめ、総勢790名の消防団員参加のもと、日ごろの訓練の成果を披露いたしました。

災害防災応援企業等

※締結順

- 一般社団法人山梨県LPガス協会
- 一般社団法人日本コミュニティーガス協会関東支部山梨県部会
- 東京ガス山梨株式会社
- 東京電力ホールディングス山梨総支社
- 東海旅客鉄道株式会社
- 山梨県石油協同組合
- 株式会社オギノ
- 山梨県医科器械同業組合
- 一般社団法人全国クレーン建設業協会山梨支部
- 東日本旅客鉄道株式会社
- 富士急行株式会社
- 山梨生コンクリート協同組合
- 峡南生コンクリート協同組合

甲府地区広域消防50周年を迎えて

当消防本部は昭和48年4月に発足して以来、50周年という大きな節目を迎えました。これまで先人たちが築き上げた歴史を受継ぐとともに、消防の更なる発展と甲府地区消防本部のキャッチフレーズでもある『守り抜く!』を胸に、圏域住民が安全・安心を実感できる地域づくりに取り組んで参ります。